平成27年度　東京都春季ハンドボール大会　競技規則

審判部

《選手登録》
◎ 人数　　各チーム１６名まで。大会参加申込時のメンバーを登録選手とする。
◎ 選手変更　選手の変更は試合前のトスの時点まで認める。変更の場合は審判・オフィシャル、相手チームに書面で申し出る。

《競技時間》
◎ 競技時間　　前半20分ー休息10分ー後半20分。ただし、決勝戦は正規時間とする。
◎ チームタイムアウト　準決勝は前後半各１回、決勝は正規ルール通り。それ以外はチームタイムアウトのルールは適用しない。

《勝敗》
◎　競技時間終了時点で同点の場合
・リーグ　　引き分け
・トーナメント　１回戦～準決勝は、第１延長戦→７ｍスロー・コンテスト
　　決勝戦は第１延長戦→第２延長戦→７ｍスロー・コンテスト
※各延長戦は５分間の休息の後、前半５分・休息1分・後半５分で行う。

◎リーグのブロックの順位決定方法は以下のとおり。
①　ポイント数（勝ち＝３点、引き分け＝１点、負け＝０点）の多いチームが上位とする。
②　ポイント数が同じときには得失点差の多いチームが上位とする。
③　得失点差が同じときは得点数の多いチームが上位とする。
③　上記の方法で順位が決定できない場合には、抽選を行いブロック順位を決定する。

《審判・オフィシャル》
◎　審判構成
・リーグはラインズマン（生徒）を２名つけて１審で行う。ただし、審判部で必要と認めた場合は2審で行う。
・トーナメントは２審で行う。

◎　係生徒の数と役割分担
・リーグは試合が終わった両チームから３名ずつ（ラインズマン２名、得点係２名、オフィシャル２名）
・決勝トーナメントは負けチームより４名（得点係２名、オフィシャル２名）
・各日、第１試合の係生徒はそのコートの**第３試合**のチームからだす。
・準決勝、シード決定戦、決勝は競技部でオフィシャルを割り当てる。
・判定について係生徒とのくいちがいが生じたときにはそのままにせず、タイムアウトをとり、確認した後、試合を再開する。

※　各チームの顧問は試合運営に支障がないよう、下記の内容について生徒の指導をしておいて下さい。。
オフィシャル ① 記録用紙の記入。
② タイムアウトの場合、時計は１回目の笛で停止、頭上に掲げたままにし、再開の笛を待つ
ラインズマン ① ゴールイン（完全通過）したときに旗を頭上に掲げる。
② ラインクロス（白線を踏んだ）の時に旗を前で左右に振る。
顧問は、**試合中はレフェリーとコンタクトをとりながらオフィシャル席で生徒の活動を監督してください。管理顧問の方で監督ができない場合は本部まで申し出てください。**

《その他の確認事項》
◎７ｍスローについて
・今大会においては審判が必要と認めたとき以外はタイムアウトをとらない。

◎７ｍスローコンテストについて
・使用するゴールは審判が決定する。
・はじめにトスを行い先攻後攻を決める。
・両チームからそれぞれ、その試合の登録選手より３名の選手とゴールキーパーがセンターライン上に整列する。
・その他の選手とチーム役員は、使用するゴールと反対側のコートに整列する。
・交互に１投ずつ行う。
・ゴールキーパーは途中、交代しても良い。
・３投して勝敗が決しないときは、再度3名ずつ選出し、サドンデス方式で行う。

◎　使用球について
・開始前に両チームから1つずつ試合球をだし、審判の判断でそれを使用する。

◎　服装について
・トーナメントではパワーパンツとアンダーウェアーの着用は日本ハンドボール協会競技運営の細則に準ずる。
・安全のため、ゲーム中に金属類を身につけることは禁止。特に女子のヘアピンにはゴムにする。
・メガネはバンドで固定する。

これ以外は平成２７年度日本ハンドボール協会競技規則に従って行う。